

これからの世界をリードしていくのは、アジア経済圏だと言われています。
そこで今、アジアの地域性を活かしたグローバル・エリート
＝世界をリードしていく人材の育成が求められています。
本フォーラムでは、欧米においてもアジアにおいても認定校が急増している
国際バカロレア教育(IB)を基軸として、
グローバル・エリート育成のための教員研修、
および新たな教員の養成について講演・討議します。

2011年
12月3日(土) 9:00 ~ 16:30
会場：玉川学園 講堂
12月4日(日) 9:00 ~ 12:00
会場：玉川大学 大学1号館
対象：教育関係者・一般

(事前申込/同時通訳あり/定員350名) 昼食代(希望者)1,000円

12月3日(土) ----- **玉川学園 講堂**

9:00 ~ 9:10 挨拶 小原 芳明(玉川学園長・玉川大学長)

9:10 ~ 9:20 挨拶 文部科学省

9:20 ~ 10:20 講演① 「中国と香港におけるIB教育」
李 斌 氏(漢基国際学校 副校長)

[休憩 20分]

10:40 ~ 11:40 講演② 「玉川大学の教師養成」
石橋 哲成(玉川大学教育学部 教授)

----- 11:40 ~ 13:00 昼食 [りんどう食堂/事前申込 昼食代1,000円]

13:00 ~ 13:45 講演③ 「新しい教師像」
野村 俊夫 氏(京都大学欧州拠点代表 特任教授)

13:45 ~ 14:30 講演④ 「21世紀の教育—マレーシアにおけるチェンパカ学園の実践」
ダト・フリーダ・ピルス 氏(マレーシア国チェンパカ学園 理事長)

[休憩 15分]

14:45 ~ 16:30 パネル・ディスカッション「グローバル時代が求める教育」

コーディネーター バーナード 恭子(玉川大学学術研究所 客員教授)
パネリスト カーティス・ビーヴァーフオード 氏(IBアジア太平洋地域 MYPマネージャー)
ダト・フリーダ・ピルス氏、野村 俊夫氏、李 斌氏、
江里口 歡人(玉川大学教育学部 准教授)

17:00 ~ 懇親会 [りんどう食堂/事前申込]

12月4日(日) ----- **玉川大学 大学1号館**

9:00 ~ 10:20 第1分科会 第1グループ「IB教員養成」
スチュアート・ジョーンズ 氏 (IBアジア太平洋地域 教員養成マネージャー)

[休憩 20分]

10:40 ~ 12:00 第2分科会 第2グループ「IB学習者像—教員研修にとって重要な学習者からの学び」
星野 あゆみ 氏 (東京芸芸大学附属国際中等教育学校MYPコーディネーター)

*第1分科会と第2分科会は同じ内容で行われます。
それぞれ違うグループの分科会にご参加いただけます。

第3グループ「グローバル・エリート育成のIB教育と教師力について」
バーナード 恭子(玉川大学学術研究所 客員教授)

第4グループ「語学教育」
李 斌 氏(漢基国際学校 副校長)

第5グループ「産業界が求める国際人」
野村 俊夫 氏(京都大学欧州拠点代表 特任教授)

第6グループ「IB指導者とは」
カーティス・ビーヴァーフオード 氏 (IBアジア太平洋地域 MYPマネージャー)

第7グループ「探求型学習」
クインシー・カメダ (玉川学園教育学部 DPコーディネーター)



文部科学省学者・専門家交流事業

玉川大学国際教育フォーラム

「アジアにおける21世紀に求められる教育」
— IBの教員養成・研修に学ぶ —

“Education
Needed in Asia
in the 21st Century”
— Learning from
IB’s Teacher Training —

玉川大学学術研究所

〒194-8610

東京都町田市玉川学園 6-1-1

TEL 042-739-8666 / FAX 042-739-8663

☒ t.instit@adm.tamagawa.ac.jp

www.tamagawa.jp



文部科学省 学者・専門家交流事業
玉川大学国際教育フォーラム「アジアにおける21世紀に求められる教育」
 “The Education Needed in Asia for the 21st Century”

開催趣旨・概要

玉川大学では、2005年4月から学術研究所全人教育研究施設に「玉川大学 国際バカロレア教育研究グループ」を設け、2007年からは学術研究所K-16一貫教育研究センターの1グループとして、国際バカロレア教育（IB教育）の理論と実践の研究を推進しています。「国際的な視野を持ち、自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する世界水準の資質や能力を育てること」は、玉川学園が提唱してきた全人教育の理念です。IBのカリキュラムも、この全人教育と同様の理念に基づいて構築されています。

日本をはじめとするアジア諸国において、これからの国際社会に通用する人材（グローバル・エリート）の育成が急務と言われる昨今。本フォーラムではその現状を踏まえ、IBを基軸として、グローバル・エリートの育成が可能な教員の研修、およびそのための研修制度を議論します。教育関係者のみならず、国際教育に関心のある一般の方々のご参加も歓迎いたします。

申込方法

本フォーラムは、どなたでも無料でご参加いただけます。（昼食代は別途必要です。）参加ご希望の方は、別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはe-mailにてお申し込みください。参加申込書は玉川大学Webサイト（<http://www.tamagawa.jp/>）からも入手できます。なお、定員(350名)になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。

分科会概要

12月4日(日)は分科会が行われます。参加申し込みの際、第1分科会・第2分科会とも、第1グループ～第7グループから1つずつご希望の分科会を選択してください。なお、第1分科会と第2分科会は同じ内容で開催されますので、重複しないようご参加ください。

第1分科会 9:00～10:20 [休憩 20分]		第2分科会 10:40～12:00	
第1グループ	「IB教員養成」 スチュアート・ジョーンズ氏（IBアジア太平洋地域 教員養成マネージャー） —— これからのIB教員養成と、将来への展開の可能性について		
第2グループ	「IB学習者像 — 教員研修にとって重要な学習者からの学び」 星野 あゆみ氏（東京学芸大学附属国際中等教育学校MYPコーディネーター） —— 教員は「IB学習者像」をどのように役立て、どのような役割を見出していくのか		
第3グループ	「グローバル・エリート育成のIB教育と教師力について」 バーナード 恭子（玉川大学学術研究所 客員教授） —— グローバル・エリート育成の教育内容と教師力について		
第4グループ	「語学教育」 李 斌氏（漢基国際学校 副校長） —— IB特有の語学教育の目的と実践について		
第5グループ	「産業界が求める国際人」 野村 俊夫氏（京都大学欧州拠点代表 特任教授） —— 教育に必要な官公民の協力、とりわけ民の期待に教育がどう応えるのか。現代の教育に期待すること、IB教員に期待すること		
第6グループ	「IB指導者とは」 カーティス・ビーヴァーフォード氏（IBアジア太平洋地域MYPマネージャー） —— IB指導者の持つ意味とはいかなるものか		
第7グループ	「探求型学習」 クインシー・カメダ（玉川大学学術研究所K-16一貫教育研究センター研究員、玉川学園教育学部DPコーディネーター） —— 探求型学習を可能にする教授法と学習方法について		

<お問い合わせ>

玉川大学学術研究所 東京都町田市玉川学園 6-1-1 TEL: 042-739-8666 FAX: 042-739-8663 ✉ t.instit@adm.tamagawa.ac.jp